

令和3年度比内支援学校かつ校 経営方針
「感染予防策と充実した教育活動の両立」～若さを強みに変えて～

「安全で明るく楽しい学校」 「地域を笑顔と元気にする学校」 「子どもの夢を叶える学校」

◎重点事項

1 地域と共に育ち、地域に感謝される学校づくりの推進

- (1) 「学校は小さな社会、地域は大きな教室」を合言葉とし、恵まれた自然環境や地域の優れた人材（アップルサポーター）等を活用した教育課程を編成し、児童生徒一人一人の可能性を引き出す。
- (2) 交流及び共同学習をはじめ、地域学習を年間指導計画の中心に据え、学校での学びを変化する状況下で発揮・応用する「本物の力」を育てる。
- (3) 地域のニーズと児童生徒のやりたいを重ね合わせた地域貢献活動を計画し、児童生徒の自己肯定感や社会的存在価値を高める。

2 子どもの思いや願いに応える教育活動の展開

- (1) 「おだやかに、ゆるやかに、ていねいに、くりかえし」を指導の基本とし、R・PDC Aサイクルで児童生徒の内面と行動の変容を目指す。
- (2) 研究テーマ「児童生徒が、自ら考えて行動する力を育てる授業づくり」を実現するために、学校生活全体を通して指導に当たるとともに、ICT機器の有効な活用方法を探る。
- (3) 児童生徒が希望する進路の実現を目指すために、小学部段階から働く力の育成を意識したキャリア教育の充実を図る。
- (4) 児童生徒の情緒の安定を図ることを重点とし、早期・予防的対応を心掛け、保護者、東山学園、医療等の関係機関と連携し、生徒指導の充実に努める。
- (5) 主体的に取り組める部活動を計画し、目標に向かって互いに励まし合い、認め合い、協力し合いながら、生徒の自主性や協調性、連帯感を育成する。

3 児童生徒の安全安心と健康な生活の確立

- (1) 危機管理マニュアル等を活用し、児童生徒が臨機応変に対応する訓練の継続と、保護者や地域、関係機関と連携した安全教育、防災教育を推進する。
- (2) 個々の児童生徒の的確な実態把握に基づいた「指導すべき課題」を明確にし、具体的な指導内容を設定したり、外部専門家と連携したりして自立活動の充実を図る。
- (3) 「正しく怖がり、正しく備えをする」を合言葉に、感染予防マニュアルを見直し、感染防止に努めるとともに、児童生徒が自ら予防対策を実践できる保健指導を行う。

4 特色ある教育活動と魅力ある学校づくりの推進

- (1) りんご栽培、全校清掃や体力づくり、東京パラリンピック応援プロジェクト等、小規模校の特色を生かした全校縦割り活動に取り組み、憧れや思いやりの心を育成する。
- (2) センターの機能やかづの校独自の研修会等を通して、地域の学校の「自校解決力」を高めるとともに、全職員が動く広告塔となり、かづの校の魅力を伝え、障害理解を推進する。

◎目指す教師像

- 1 自分の得意分野を磨き高め、絶えず学び続ける教師
- 2 子どものよさを引き出し、伸ばすことができる教師
- 3 保護者、地域の人々から信頼され、親しまれる教師
- 4 「不祥事を起こさない！！」強い意志をもった教師